

分子病理診断の進歩

最善・最良の治療は、精確な検査診断がなされてはじめて可能になりますが、分子病理診断の進歩は、この治療と検査診断との不可分性をより一層強固にしたと言えるでしょう。分子病理診断は、病理検査の精確度や迅速性の向上に寄与するとともに、分子標的治療の個別化を実践していくうえで、欠かすことのできない重要な役割を担っているからです。

個別化医療(テーラーメイド医療)抜きには、“これからの医療”を語ることはできません。そして、“これからの医療”の一翼を担う臨床検査として、今後ますます分子病理診断の重要性と需要が高まることは、想像に難くありません。

本特集では、医療のパラダイムを変える強力な driving force と言っても過言ではない分子病理診断の現状と今後の展望について、本領域のエキスパートの先生方に詳細に解説していただきました。

(山内 一由)